

# ScanSnap Manager V6.5L40 README ファイル

## PFU LIMITED

### # 目次

1. システム要件
2. USB およびパソコンに関する注意事項
3. インストール時の注意事項
4. 実行時の注意事項
5. CardMinderとの連携について
6. アンインストール時の注意事項
7. その他の注意事項
8. 組み込みソフトウェアのライセンス文
9. 前バージョンからの変更点

### # ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下 [ハイセイフティ用途] という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

#### 1. システム要件

# システム要件については、使用しているScanSnapのオペレーターガイド、または、かんたんガイドの「動作環境」を参照してください。

#### 2. USB およびパソコンに関する注意事項

- # パソコンとの接続には必ず同梱の USB ケーブルをご使用ください。
- # USB インターフェイスケーブルを抜き差しする場合は、必ず 5秒以上間隔をあけてください。ケーブルを抜いてすぐに差し込むと正常に ScanSnap が動作しない場合があります。
- # ディスプレイは、ハイカラー以上の設定でお使いください。256 色以下では表示が乱れる場合があります。

### **3. インストール時の注意事項**

- # ScanSnap は、必ず ScanSnap Manager をインストールしてから接続してください。ScanSnap Manager がインストールされていない状態では、ScanSnap をシステムに正しく登録することができません。
- # ScanSnap Manager は、ルートフォルダーに直接インストールしないでください。正常に動作しない場合があります。適当なフォルダーにインストールしてください。
- # インストール先のフォルダーは半角英数字 80 文字を超えないでください。正常に動作しない場合があります。半角英数字 80 文字以内のフォルダーにインストールしてください。
- # 管理者権限 (Administrator 権限) のあるユーザー名でログオンしてからインストールしてください。
- # インストール先のフォルダー名に下記に示す文字を使用しないでください。使用するとプログラムが正常に動作しない場合があります。  
/ ; , . \* ? " < > | # %
- # ScanSnap Manager インストール直後にしばらく待っても未認識状態のままの場合は、電源を一度切断してから、再度投入してください。
- # ScanSnap Manager を再インストールするときは、必ずアンインストールを先に行ってください。アンインストールを行わなかった場合、ScanSnap Manager は正しくインストールされません。
- # インストール先のフォルダには、ローカルディスクのフォルダを指定してください。
- # Windows Vista(R)、又は、Windows(R) 7でインストールする場合、[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されますので、[続行] ボタンを選択してください。
- # 以下の機能を使用する場合は、先に .NET Framework 3.5 (SP1以降) をインストールしてください。
  - モバイルに保存
  - Salesforce Chatterに投稿
- # 以下の機能を使用する場合は、先に .NET Framework 4 または、このインプレース更新版をインストールしてください。

なお、.NET Framework をインストール後は、Windows Updateにて更新プログラムを適用してください。

- Google ドライブに保存

# ScanSnap Manager は環境依存文字（unicode）には対応していません。ScanSnapManager のインストール先、ユーザアカウント名、ScanSnap Manager で扱うフォルダ名、ファイル名、その他の文字列に、環境依存文字（unicode）を使用しないでください。

#### **4. 実行時の注意事項**

# 選択アプリケーションとして、Adobe(R) Acrobat(R)、Adobe(R) Reader(R)、又はAcrobat(R) Reader(R) が選択されている場合、以下の注意事項があります。

- 選択アプリケーション起動時、Adobe(R) Acrobat(R) が起動している状態でAdobe(R) Reader(R) または Acrobat(R) Reader(R) を起動した場合、Adobe(R)Acrobat(R) のほうにデータが取り込まれます。
- 同様に、Adobe(R) Reader(R) または Acrobat(R) Reader(R) が起動している状態でAdobe Acrobat(R) を起動した場合、Adobe(R) Reader(R) または Acrobat(R)Reader(R) のほうにデータが取り込まれます。

# Adobe(R) Acrobat(R)、Adobe(R) Reader(R)、又は Acrobat(R) Reader(R) と連携する場合、ファイル形式が"JPEG"では起動しません。ファイル形式を"PDF"にして連携するようにしてください。

# 装置添付のAdobe(R) Acrobat(R)、Adobe(R) Reader(R)、又はAcrobat(R) Reader(R) と連携する際、1ページも保存されない(すべて白紙、1枚目でエラー等)場合には、Adobe(R) Acrobat(R)、Adobe(R) Reader(R)、又は Acrobat(R) Reader(R) は起動されますが、画像は表示されません。

# ScanSnap Manager で [画質の選択] をエクセレントを指定して読み取りを行った場合、処理速度が極端に遅くなったり、メモリが不足するなどが発生し、ScanSnap Managerが読み取り中に [応答なし] になることがあります。その場合は、ファイン、スーパーファインを選択してください。

# 原稿搬送読み取り途中に、イメージスキャナ装置の電源ケーブルまたは、インターフェースケーブルを取り外すと、不正なエラーを発生することがありますので、スキャナが読み取り動作中は、絶対にケーブルの抜き差しなど行わないでください。

# ターミナルサービスクライアントおよびリモートデスクトップ接続クライアントでの動作は保証していません。

# Adobe(R) Reader(R)、または Acrobat(R) Reader(R) と Adobe(R) Acrobat(R) が同時にインストールされている状態で、PDF Thumbnail View が有効になっていると、[アプリケーションの選択] で Adobe(R) Reader(R)、または Acrobat(R) Reader (R) を選択しても、読み取り後に、Adobe(R) Acrobat(R) が起動します。この場合は、PDFThumbnail View を無効にするか、Adobe(R) Acrobat(R) をそのまま利用してください。

# 以下の機能の使用時に、文字が正しく表示されない場合、

- CardMinder
- モバイルに保存
- Salesforce Chatterに投稿
- SugarSyncに保存
- Dropboxに保存

以下の対応を行ってください。

Windows Vista(R) 以降の場合：

- Microsoft Office 2003 またはそれ以降のセットアップディスクから、ユニバーサルフォント（Arial Unicode MS）をインストールします。

Windows(R) XPの場合：

- [コントロール パネル] → [地域と言語のオプション] → [言語] タブの [東アジア言語のファイルをインストールする] をチェックします。
- Microsoft Office 2000 またはそれ以降のセットアップディスクから、ユニバーサルフォント（Arial Unicode MS）をインストールします。

## **5. CardMinderとの連携について**

# ScanSnap Manager のScanSnap 設定画面が起動されている場合は、CardMinderで、スキャナ読み取りを行うことはできません。ScanSnap 設定画面を閉じてから、再度実行してください。

## **6. アンインストール時の注意事項**

# アンインストールは、コントロールパネルの [プログラムと機能]（Windows(R) XP の場合は [プログラムの追加と削除]）から行います。

# 管理者権限（Administrator 権限）のあるユーザー名でログオンしてからアンインストールしてください。

# アンインストール後は、必ずパソコンを再起動してください。

# アンインストール後の再起動時に ScanSnap が接続されていると、Windows(R) の [新しいハードウェアの追加] ウィザードが開始されてしまいます。アンインストール時はScanSnap の電源を切るか、USB ケーブルを抜いておいてください。

# Windows Vista(R)、又は、Windows(R) 7 でアンインストールする場合、[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されます。管理者権限（Administrator 権限）のあるユーザーの場合は [続行] ボタンを、管理者権限

(Administrator 権限) のないユーザーの場合は、管理者権限 (Administrator 権限) のあるユーザーを選択し、パスワードを入力してから [OK] ボタンを選択してください。

## **7. その他の注意事項**

# 下記の組み合わせを除いて、複数台の ScanSnap を同時に接続することはできません。使用するScanSnapのみを接続してください。

- SV600 (1 台) と「iX100 / iX500 / S1500 / S1500M / S1300i / S1300 / S1100」(いずれかの1台)

\* 使用するScanSnapのシステム要件を確認してから、ご使用ください。

# 読み取り中やランプ安定待ち中に以下の操作を行うことは避けてください。システムが不安定になる恐れがあります。

- ScanSnap が接続されている USB ケーブルの挿抜
- ScanSnap の電源の ON/OFF
- ScanSnap Manager のアンインストール
- コンピュータのログオフ、再起動、シャットダウン

# 下記の場合において、ユーザー切り替えを行わないでください。ScanSnap との通信が正常に行われません場合があります。

- 読み取り中
- コンピュータ起動直後
- ScanSnap の電源 ON 直後

# 読み取り中にコンピュータ側がスタンバイ状態 (サスペンド) や休止状態 (ハイバネーション)、スリープ状態などの省電力モードになった場合、省電力モードから復帰後にScanSnap との通信が正常に行われません場合があります。その場合は、省電力機能をオフにしてから、再度読み取りを実行してください。

# コンピュータが省電力モードから復帰した後や、ログオフ、ユーザー切り替えを行った場合、ScanSnap との通信が正常に行われません場合があります。その場合は、ScanSnapの電源を OFF にして、再度 ON にしてください。

# ScanSnap の電源 ON 時は、ScanSnap Managerアイコンが接続状態になるまで、コンピュータの再起動、シャットダウン、又は、強制終了を行わないでください。

## **8. 組み込みソフトウェアのライセンス文**

# ScanSnap Manager は、下記ソフトウェアを組み込んでいます。

- Adobe(R) XMP Toolkit SDK

上記ソフトウェアのライセンス条件に従い、以下にライセンス文を示します。

The BSD License

Copyright (c) 1999 - 2014, Adobe Systems Incorporated All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- \* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- \* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- \* Neither the name of Adobe Systems Incorporated, nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- Google.Apis.Drive.v2 Client Library

ライセンス条件 : <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

- Apache log4net

ライセンス条件 : <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

- Newtonsoft Json.NET

上記ソフトウェアのライセンス条件に従い、以下にライセンス文を示します。

The MIT License (MIT)

Copyright (c) 2007 James Newton-King

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

- Zlib.Portable

上記ソフトウェアのライセンス条件に従い、以下にライセンス文を示します。

Copyright (c) 2006-2011 Dino Chiesa. Ported by Robert McLaws.

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose,

including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely,  
subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgement in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

- libtiff

上記ソフトウェアのライセンス条件に従い、以下にライセンス文を示します。

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler

Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

## **9. 前バージョンからの変更点**

最新版は、旧版での対応内容を含んでいます。

# V6.5L33 →V6.5L40 の変更点

- 検索可能なPDFに変換する時に選択できる対象言語を拡張しました。拡張された他の言語を追加するには、オンラ

インアップデートから、使用したい言語が含まれたOCRパックをインストールすることでご利用可能です。

- 以下の連携機能において、イメージの端に黒い線が入る場合がある不具合を修正しました。
  - プリンタで印刷
  - メールで送信
  - 指定したフォルダに保存
  - ピクチャフォルダに保存
  - Dropbox に保存
  - Salesforce Chatterに投稿
  - SugarSync に保存

#### # V6.5L31,V6.5L32 →V6.5L33 の変更点

- アイコンデザインを変更しました。
- テキストサイズを200%に設定した場合に、画面の一部で操作できない不具合を修正しました。
- ScanSnap Organizer などのScanSnap ソフトウェアをインストールした状態でScanSnap Manager をアンインストールすると、ScanSnap オンラインアップデートとScanSnap マニュアル がアンインストールされる場合がある不具合を修正しました。
- 設定画面で設定を変更せずに「読み取り設定」を変更した場合に、設定の変更を確認するメッセージが表示される不具合を修正しました。
- 標準以外の読み取り設定のアプリケーションの選択をCardMinder または名刺ファイリングOCR に設定した状態で、ScanSnap Manager を再起動すると、標準の読み取り設定のアプリケーションの選択が、CardMinder または名刺ファイリングOCR に変更されてしまう不具合を修正しました。
- 検索可能なPDF ファイルが他社の一部のアプリケーションで、正しく処理できない不具合を修正しました。

#### # V6.5L21 →V6.5L31 の変更点

- ScanSnap Cloudでの読み取りを優先する機能を追加しました。  
この機能は、ScanSnap Cloudをご利用の場合にのみ有効となります。
- 「Google ドキュメント(TM)に保存」から「Google ドライブに保存」に連携するアプリケーション名を変更しました。
- 「白紙ページを自動的に削除します」および、「検索可能なPDFにします」が有効で、重なり検出が発生した場合に、PDFのページ順がおかしくなる場合がある不具合を修正しました。
- ScanSnap SDKを利用したアプリケーションから、eScanModeキーに1または2を設定して読み取りを行った場合に、指定された設定で読み取りが行われない場合がある不具合を修正しました。

#### # V6.5L20 →V6.5L21 の変更点

- ScanSnap SDKを利用したアプリケーションから、eScanModeキーを設定せずに読み取りを行った場合に、指定された設定と違う読み取りが行われる不具合を修正しました。

# V6.5L10 →V6.5L20 の変更点

- e-文書モードの読み取り画質と機能の改善、及び、以下の機種にe-文書法に対応した読み取りをできるようにしました。  
iX100 / SV600 / S1300i / S1100
- 無線LANの接続性を改善しました。(iX100専用)
- Windows(R) 10に対応しました。

# V6.3L30 →V6.5L20 の変更点

- ScanSnapの最新の推奨動作環境（CPU: Intel® Core™i5 2.5GHz以上、メモリ容量:4GB以上）におけるPDFファイルの出力・表示処理を全面的に見直しました。(※1)  
特にScanSnap Organizerの表示性能が大幅に向上しております。  
当社従来比 最大200%（通常カラーPDFを読み込んだ場合の平均値）(※2)  
(※1) : ScanSnap Manager V6.3以前、ScanSnap Organizer V5.2以前との比較時。  
また、使用頻度の高い1 G B未満のサイズのPDFを扱う場合の性能向上となります。  
(1 G Bの目安 : カラー原稿、スーパーファインで813枚)  
(※2) : 原稿形式、読み取りモードにより性能値は変動します。
- 「Dropboxに保存」が表示されない場合がある不具合を修正しました。
- 無線LANの接続性を改善しました。(iX100専用)
- Windows(R) 10に対応しました。

# V6.3L27 →V6.3L30 の変更点

- e-文書モードの読み取り画質と機能の改善、及び、以下の機種にe-文書法に対応した読み取りをできるようにしました。  
iX100 / SV600 / S1300i / S1100

# V6.3L25, V6.3L26 →V6.3L27 の変更点

- Googleの新しい認証およびアップロード方法に対応しました。  
Google ドキュメント(TM)に保存機能を使用する場合は、.NET Framework 4 または、このインプレース更新版をインストールしてください。  
なお、.NET Framework をインストール後は、Windows Updateにて更新プログラムを適用してください。

# V6.3L24 → V6.3L25 の変更点

- ダイレクト接続モードでの無線LANの接続性を改善しました。(iX100専用)

# V6.3L23 → V6.3L24 の変更点

- ScanSnap iX100 接続時の無線設定ウィザードを改善しました。(iX100専用)
- コンピュータとScanSnapが無線接続できない場合がある不具合を修正しました。(iX100、iX500専用)
- 安定性の向上のため、メモリ使用方法を改善しました。(SV600専用)
- 画質の選択で「エクセレント」を指定し、見開き原稿の保存オプションで「2ページで保存する」を指定して読み取りを行った場合に、偶数ページが黒くなる不具合を修正しました。(SV600専用)

<ScanSnap iX100>

# V6.3L22 → V6.3L23 の変更点

- 読み取り終了時にもバッテリー残量を更新するように改善しました。
- バッテリー駆動時の電源設定に「1分後」「3分後」を追加しました。

# V6.3L20 → V6.3L22 の変更点

- 無線設定ツールで同一接続先を登録時に、無線接続できない場合がある不具合を修正しました。
- 画質の選択で「エクセレント」を指定した場合、保存画像の一部が伸びる場合がある不具合を修正しました。

# V6.3L10 → V6.3L20 の変更点

- 2つ折り原稿の表面および裏面のイメージデータを自動的に合成する機能を追加しました。
- イメージデータの向きを設定した角度に回転する機能を追加しました。(右90度回転、180度回転、左90度回転)

<ScanSnap iX100 以外>

# V6.3L22 → V6.3L23 の変更点

- マルチディスプレイ環境において、ディスプレイの台数を切り替え時、「補正ビューア」画面が見えなくなる場合がある不具合を修正しました。(SV600専用)

# V6.2L24 → V6.3L22 の変更点

- イメージデータの向きを設定した角度に回転する機能を追加しました。(右90度回転、180度回転、左90度回転)
- 読み取る原稿の選択で「見開き原稿」を選択後、ScanSnap Organizer連携した場合、「平らな原稿」で保存される場合がある不具合を修正しました。

<ScanSnap SV600 / ScanSnap iX500>

# V6.2L23 → V6.2L24 の変更点

- 安定性の向上のため、ScanSnap SV600 のファームウェアを更新しました。(SV600専用)

# V6.2L22 → V6.2L23 の変更点

- カメラの初期設定値（Rの出力レベル）を変更しました。(SV600専用)

# V6.2L21 → V6.2L22 の変更点

- 「文字列の歪みを補正します」の機能を有効にして読み取りを行った場合に、異常終了する場合がある不具合を修正しました。(SV600専用)

# V6.2L20 → V6.2L21 の変更点

- 読み取りモードオプションの「画質」タブに、「文字列の歪みを補正します」の設定項目を追加しました。スキャンしたイメージデータの文字列や罫線の歪みを低減します。(SV600専用)

# V6.2L15 → V6.2L20 の変更点

- 楽2ライブラリ パーソナル、または楽2ライブラリ Smart連携時にエラーメッセージが表示される場合がある不具合を修正しました。

<ScanSnap SV600>

# V6.2L14 → V6.2L15 の変更点

- コンピュータとScanSnap iX500がWi-Fi接続で読み取りができるようになりました。(iX500専用)
- IEEE802.1X認証の接続に対応しました。(iX500専用)

# V6.2L13 → V6.2L14 の変更点

- 切り出し結果の確認画面に「続けてポイント・レタッチを行う」の設定項目を追加し、平らな原稿読み取り時にポイント・レタッチが行えるように対応しました。(SV600専用)

# V6.2L10 → V6.2L13 の変更点

- 読み取りモードオプションの「画質」タブに、「カラー読み取り時の色を濃くします」の設定項目を追加しました。スキャンしたイメージデータの色補正を行わない設定です。色の薄い原稿や小さい文字がかすれた場合に色を濃くしてかすれを低減します。(SV600専用)
- ScanSnap の読み取り操作をキーボード ショートカットキーで行えるように対応しました。(SV600専用)
- 詳細情報画面のスキャナ情報に、「シリアルナンバー」を追加しました。
- ロジクール社の「SetPoint」が起動されている場合、ScanSnap Managerの起動時にエラーとなる場合がある不具合を修正しました。
- ディスプレイ設定で項目サイズに「中(125%)」を指定した場合、補正ビューア画面のメニューボタンのレイアウトが崩れる場合がありましたが、レイアウトが正しく表示されるように修正しました。

<ScanSnap iX500>

# V6.1L10 → V6.2L15 の変更点

- ScanSnap SV600を接続して読み取りができるようになりました。
- IEEE802.1X認証の接続に対応しました。(iX500専用)

# V6.0L12 → V6.1L10 の変更点

- コンピュータと ScanSnap iX500 が Wi-Fi接続で読み取りができるようになりました。

# V6.0L11 → V6.0L12 の変更点

- SugarSyncにファイルを保存しようとするエラーとなることのある不具合を修正しました。
- イメージの端の余白および原稿サイズの検出精度を改善しました。

# V6.0L10 → V6.0L11 の変更点

- ファイル名の設定で「yyyyMMddHHmmss」を選択してテキスト認識機能を使用した場合に、ファイル名が「yyyy年MM月dd日HH時mm分ss秒」になる不具合を修正しました。
- ファイル名の設定に日付を使用した場合に、同じ時間に複数のファイルが作成された時の連番の付け方を、ファイル名で並べ替えやすいように改善しました。
- クイックメニューで、アプリケーションの設定ボタンを非表示にできるようにしました。また、クイックメニューに表示するお気に入りアプリケーションを、右クリックメニューから設定するように変更しました。

- \* Microsoft、Windows、および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- \* Intel および Intel Core は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporationの登録商標または商標です。
- \* Adobe、Acrobat、および Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- \* Google、Google ドキュメント、および Google ドライブ は、Google Inc. の登録商標または商標です。
- \* Salesforce および Salesforce CRMは米国その他の国における米セールスフォース・ドットコム（salesforce.com, inc.）の登録商標または商標です。
- \* ScanSnap、ScanSnap Manager、および CardMinder は、株式会社PFU の日本における登録商標または商標です。
- \* その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。